

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会

### 電波利用環境委員会 CISPR A 作業班(第 25 回)

#### 議事要旨

1 日時：令和 7 年 10 月 6 日（月）14:30～16:20

2 場所：Web 会議開催(Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】石上主任(東北学院大学)、田島主任代理(NTT-AT)、雨宮構成員(VCCI)、安藤構成員(JEMA)、伊藤構成員(NHK)、曾根構成員(東北大学)、中嶋構成員(JQA)、中村構成員(JBMIA)、鳩野構成員(JEITA)、原田構成員(VCCI)、針谷構成員(KEC)、平田構成員(富士フィルム BI)、藤井構成員(NICT)、三塚構成員(TELEC)

【関係者】長部関係者(VCCI)、島先関係者(VCCI)

【事務局】総務省：郷藤電磁障害係長(記)

#### 4 議事概要

##### (1) CISPR A 小委員会 東京会議等 審議結果について

CISPR A 総会の審議結果について、石上主任より資料 25-1-1 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

藤井構成員：16-1-7 を作るという話は、提案者がいなかったために議論は無かったか。

石上主任：中国がなかったので議論は無かった。

藤井構成員：提案に対する参加者の反応はどうであったか。

田島主任代理：拒否するような反応ではなく、40GHz に関連する話として理解されていた。高周波になると距離が近くなるため、これまでの校正法とは異なる方法になるという提案と理解した。Gorini 氏と Knight 氏は歓迎する雰囲気であった。

藤井構成員：アンテナ 1 つに対して、1m、3m のアンテナ係数や、10m で測定できる場合はどうなるのかなど、アンテナのパラメータが多数できてしまって、やりにくいと思われる。また議論させていただきたい。

次に、WG1 の審議結果について、石上主任より資料 25-1-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

長部関係者：VHF-LISN の追加に関する 16-1-4 の第 5 版について、FDIS 可決と報告があったが、IS が 10 月 3 日に発行となっていることを報告する。

石上主任：無事 IS が発行されたとのこと、これまでのご貢献に感謝する。

次に、WG2 の審議結果について、田島主任代理より資料 25-1-3 に基づき説明が行われた。特に補足・質疑はなかった。

次に、JAHG6の審議結果について、島先関係者より資料25-1-4に基づき説明が行われた。質疑応答は次のとおり。

田島主任代理：JAHGの検討内容について、16-2-3の次の改訂に盛り込まれると思うが、第5版のAMD 1や2になるか。

島先関係者：現時点ではRRがこれから出てくるかと思うが、16-2-3はフラグメントが多数あるので、その中の一部に入ると思われる。

次に、JWG9の審議結果について、田島主任代理より資料25-1-5に基づき説明が行われた。質疑応答は次のとおり。

石上主任：7.2項において10dB閾値とあったが、これは設置後に10dB増えてはならないというものか。

田島主任代理：設置者が判断してもらうポイントとして、許容値と比較するという話ではなく、設置前に測定し、設置後に動作させた状態で測定した結果、ノイズが増えたかどうかの目安を10dBで判断しなさいとなっている。

石上主任：許容値ではなく、あくまで設置者が判断する基準と理解した。

## (2) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

石上主任より資料25-2-1及び25-2-2に基づき説明が行われ、特に補足・質疑なく承認された。

## (3) CISPR A 小委員会 AHG7 対処方針(案)について

AHG7の対処方針(案)について、島先関係者より資料25-3に基づき説明が行われた。特に補足・質疑はなかった。

## (4) その他

特になし。

以上